

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	家庭児童相談員設置事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	02	01	10
02								02
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	石井 由美子			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	子育てに関する悩み・不安を抱える親子	意図	子育てに関する悩みと不安の解消
事業内容	非常勤特別職の専門相談員により、電話や面接により相談を受けるとともに、訪問による相談を行うなど関係機関と連携し、助言・指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和52年度設置及び業務の開始⇒社会情勢及び家庭環境の変化に伴い相談件数が増加⇒児童虐待を初めとする相談を中心に件数が増加し現在に至る。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 新規相談件数	415	534	576	件	→→	
	② 全件相談回数	2,287	2,601	2,881	回	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,986,792	8,133,908	8,452,914			
事業費(b)(円)		4,493,292	4,678,908	4,687,914			
うち一般財源		4,493,292	4,678,908	4,687,914			
職員給与費(c)(円)		3,493,500	3,455,000	3,765,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	核家族化の進行、女性の社会進出、共働き世帯の増加といった家庭を取り巻く社会環境の変化に伴い、様々な問題が複雑多岐にわたる中で、今後も相談機能の充実・強化に努める。	③取組の課題	関係機関と連携し、問題のある家庭や子どもの発見と早期対応
②今年度(H27)に実施した取組	子育て関係施設（保育園・児童センター）の定期訪問 泣き声通報等への対応（家庭訪問等）	④今後の改善計画	関係機関と連携しながら、複雑多岐にわたる家庭の事情の問題に対して、相談機能の充実・強化に努める。